

### (3) 福生市地域新エネルギー詳細ビジョンの目的

このように福生市では、地域新エネルギービジョンに基づく取組みを実施し始めました。福生市の掲げた CO<sub>2</sub> 削減目標は、ヨーロッパ各国や先進市にも匹敵する数値目標になっています。しかし、福生市には太陽光以外に有望な再生可能エネルギー源がなく、省エネルギーやエネルギーの効率化などさまざまな手法を組み合わせなければ、この目標達成は困難です。

さらに大まかな数値目標だけでなく、具体的な項目についてどのようなエネルギーや技術をどれだけ導入（あるいは削減）するのかという目安も必要です。そこで本地域新エネルギー詳細ビジョンでは、以下のような項目を視点として検討を行いました。

#### ①着実な省エネルギーの推進

エネルギー消費の削減（省エネルギー）は、まず手がけなければならないことです。とくに身近な地球温暖化対策では、一般家庭・事業所での省エネルギーを着実に推進していくことが大切です。一人ひとりの省エネ行動だけでなく、省エネルギー型の建築やシステムの推進に取り組むことが重要になります。

#### ②新エネルギー導入とエネルギーのベストミックスの追求

地球温暖化やエネルギー問題解決のためには、省エネルギーと同時に質の転換（エネルギーの効率的利用や脱化石燃料への転換）が大きな課題となります。再生可能エネルギーなどの新エネルギー導入を推進することが地球温暖化対策にとって重要です。

ひとくくりに新エネルギーといっても、いろいろな種類があります。それらは、CO<sub>2</sub> の排出量や効率などに違いがあるため、具体的な導入にあたっては、各種エネルギーの長所・短所を認識したうえで、コスト、効率性、地球温暖化への貢献度から最適なエネルギーを組み合わせることが必要です。

#### ③分散化によるエネルギー供給の効率化と安定化

現在、福生市内に供給される電力は、市外から送られてきています。この電力は遠方にある大規模集中型発電所で発電されており、廃熱が利用されておらず、送電・変電損失もあるため届く電力は投入された燃料の4割以下にとどまっています。エネルギー利用の効率化には、発電時の廃熱を有効利用し、送・変電ロスが少ない分散化を進めることが必要です。また、そのことにより、大規模災害時にも停電などのリスク回避ができるようなシステムを構築することが可能になります。

#### ④地域の新規産業・雇用の創出

①、②、③を推進するためには、個々の市民、事業所がそれぞれバラバラに取り組むだけでなく、市内における省エネルギーや新エネルギーの導入を民間事業として根づかせていくしく